

# 大学と地域で育てるホームファーマシスト\*

～患者と家族の思いを支え、在宅チーム医療を実践できる薬剤師\*養成プログラム～



電子ポートフォリオ (成長のプロセスの評価)

【指導薬剤師】

【卒業教育】

【5-6年次】

【3-4年次】

【1-2年次】

思いを受容し支える力	チームでの問題発見・解決能力	在宅医療実践力 (薬学・医学・歯学・看護・リハ的管理)
<p>高齢者、在宅患者と家族の思い、語り(narrative)を受け入れ、支えるためのコミュニケーション、医療ヒューマンズムを涵養する。</p>	<p>高齢者、在宅患者の抱える問題を発見し、解決するために、多職種が連携・協働し、最善の治療・ケアを立案・実践する能力を修得する。</p>	<p>在宅医療のシステムを理解し、高齢者・在宅患者と家族のQOL・ADLを評価・支援する、多職種が共有すべき専門的な技能を修得する。</p>
<p><b>6年次</b> 【地域の多職種のスタッフと連携し、患者とその家族を支える】 ・学部連携在宅医療実習 + アドバンストPBLチュートリアル</p>		
<p><b>5年次</b> ・薬局実習、病院実習(学部連携病棟実習含む)</p>		
<p>【患者と家族のナラティブに 대응する】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>在宅シミュレーション演習・実習(ロールプレイ、患者・家族との対話)</li> <li>高齢者コミュニケーション演習</li> </ul>	<p>【在宅チーム医療実践の基盤を構築する】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>4学部連携PBLチュートリアル(臨床判断・問題解決型)</li> </ul>	<p>【在宅患者を支える技能を修得する】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>在宅医療支援実習(服薬支援、医療・生活介助、フィジカルアセスメント実習)</li> </ul>
<p>【患者と家族の思いに共感する】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>在宅医療体験実習</li> <li>在宅医療の倫理</li> </ul>	<p>【在宅チーム医療の問題を共有する】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>4学部連携PBLチュートリアル(課題発見型)</li> </ul>	<p>【患者を支える仕組みと技能を知る】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者福祉施設体験(支援の仕組みと技能の見学)</li> </ul>

## 運営委員会

### 在宅医療教育支援室

- ・支援室長 ・教育職員 ・事務職員
- ・昭和大学(薬・医・歯・保健医療学部、富士吉田教養部) 教員

- ・昭和大学附属病院の医療スタッフ
- ・地域薬剤師会、医師会、歯科医師会



- ・体系的教育プログラム作成
- ・DVD・シミュレーター等の在宅医療教育ツールの作成
- ・地域医療連携実習のシステム構築
- ・在宅医療が抱える問題に関する調査研究
- ・教育プログラムの円滑な運営、評価と改善

各種FD研修会

## 協力連携施設(1都2県)

- ・昭和大学附属8病院 (東京都内、神奈川県内)
- ・山梨県内3病院
- ・薬局(約50施設)、診療所(約20施設)、特別養護老人ホーム 訪問看護ST、歯科診療所、介護支援センター
- ・品川・荏原・江東区・大田区・富士五湖地区薬剤師会
- ・大森医師会
- ・品川、山梨歯科医師会

